

降灰時の対応



在宅避難

- 降灰が落ちつくまでは、できる限り外出は控えましょう。
※家屋倒壊など命の危険がある場合は、避難が必要
- 室内に入る前に、服や髪に付着した灰を払いましょう。



運転自粛

- 降灰時は視界不良やスリップにより、事故のリスクが高くなるため、車の運転は控えましょう。



室内での対策

- 灰が室内に入りこまないように、ドアや窓をしっかりと閉めましょう。
- 通気口やドアの隙間は、タオルで塞ぎましょう。
- エアコンの室外機にはカバーをかけましょう。



火山灰の除去

- 行政の指示に従い、協力して除灰しましょう。
- 作業時は、できる限りマスクやゴーグルを着用しましょう。
- 灰は水を含むと固まるため、排水溝に流さないようにしましょう。



情報収集

- 噴火の可能性が高まったり、噴火が発生すると、気象庁から降灰に関する情報などが発表されます。
- 不確かな情報に惑わされないように、信頼性の高い情報源から情報を収集しましょう。



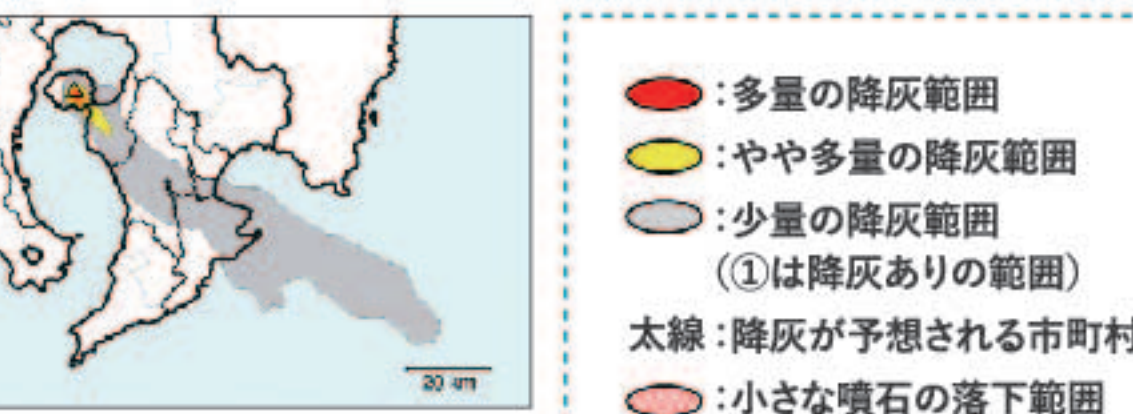
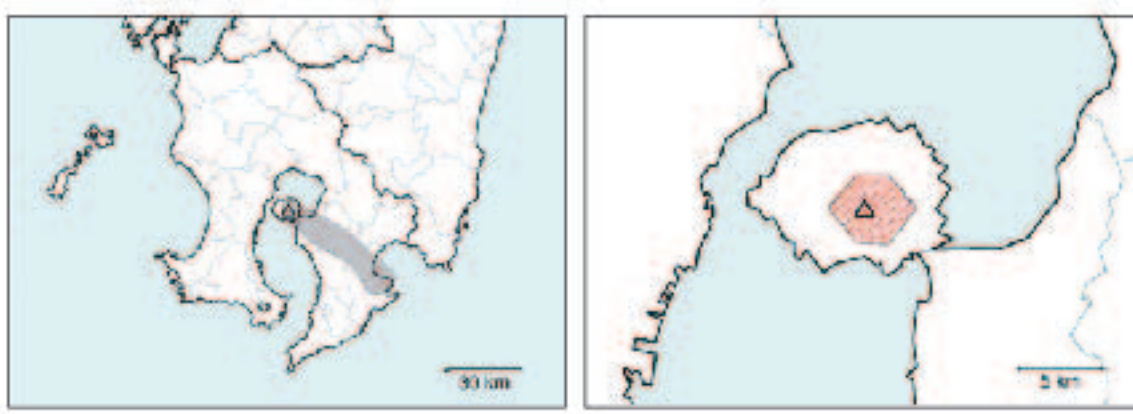
詳しくは「気象庁ホームページ」をご覧ください

気象庁が発表する火山防災情報（例）

降灰予報

降灰予報は、噴火後に、どこに・どれだけの量の火山灰が降るかや、活動が活発化している火山で、噴火が起こればこの範囲に降灰があるという事前の情報のことです。

①降灰予報（定時）	②降灰予報（速報）	③降灰予報（詳細）
噴火の可能性が高い火山に対して、想定した噴煙高を用いて、18時間先までに噴火が発生した場合の 降灰範囲 や 小さな噴石の落下範囲 を計算し、 定期的 に発表します。	噴火発生直後、事前に計算した想定噴火のうち最も適当なものを抽出し、1時間以内の 降灰量分布 や 小さな噴石の落下範囲 を、噴火後5～10分程度で 速やかに 発表します。	噴火発生後、観測した噴煙高を用いて、精度の良い 降灰量分布 や 降灰開始時刻 を計算し、6時間先までの 詳細な 予報を、噴火後20～30分程度で発表します。



● 多量の降灰範囲
● やや多量の降灰範囲
● 少量の降灰範囲
(①は降灰ありの範囲)
太線：降灰が予想される市町村
● 小さな噴石の落下範囲

（噴火のイメージ）



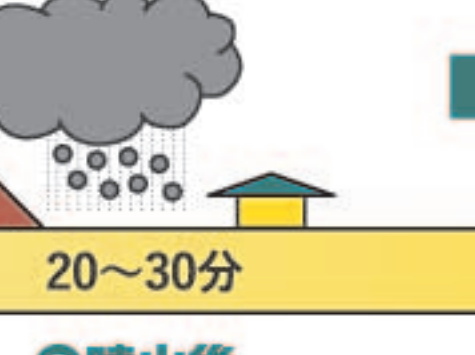
噴火前



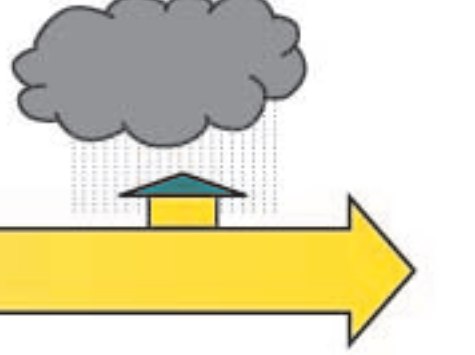
噴火発生
0分



火山の近くで降灰や
小さな噴石の落下が始まる
5～10分



噴火発生後、
10分程度で噴火が収まる
20～30分



火山から離れた場所で
降灰が始まる

①噴火前 ②噴火直後 ③噴火後

種別	名称	対象範囲	噴火警戒レベル	
特別警報	噴火警報(居住地域)又は噴火警報	居住地域及びそれより火口側	レベル5	避難
			レベル4	高齢者等避難
警報	噴火警報(火口周辺)又は火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	レベル3	入山規制
			レベル2	火口周辺規制
予報	噴火予報	火口内等	レベル1	活火山であることに留意

出典：気象庁ホームページ（https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/vol_know.html）

日頃からの備え

いつ起こるとも知れない降灰などの災害に備え、マスクやゴーグル、食料品・生活必需品などを準備しておきましょう。食料などは最低3日分～推奨1週間分を備蓄しましょう。

※過去に富士山の噴火は2週間継続したため、可能であればそれ以上の備蓄ができればよいでしょう。

降灰対策用品

マスク

びったりと顔に密着し、隙間ができないマスクを準備しておきましょう。
※長時間屋外作業をする場合などは、産業用として認証されたマスク（DS2やN95等）が望ましい。



ゴーグル

細かい火山灰が浮遊している場所では、目への刺激を防ぐため、ゴーグル（または眼鏡）を準備しておきましょう。



清掃用具

積もった火山灰を取り除くため、ほうきやスコップなどを準備しておきましょう。



備蓄品目（一例）

食品など

- ☐ 水
- ☐ 無洗米
- ☐ 乾麺・即席麺
- ☐ 缶詰
- ☐ レトルト食品

生活用品

- ☐ ボリ袋・ビニール袋
- ☐ ラップ
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ トイレトペーパー
- ☐ 軍手

衛生用品

- ☐ 救急箱
- ☐ 常備薬・サプリメント
- ☐ 処方箋
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 口内洗浄液

その他

- ☐ カセットコンロ・ボンベ
- ☐ 携帯（簡易）トイレ
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 手回し充電式などのラジオ
- ☐ 乾電池・モバイルバッテリー

詳しくは「東京備蓄ナビ」をご覧ください





Tokyo富士山降灰 特設サイト

<https://www.fujisan-kouhai.metro.tokyo.lg.jp>



富士山が噴火したら… 降灰に備える

令和7年3月発行
編集発行／東京都総務局総合防災部防災計画課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話／03(5320)7892
印刷／アーゲル株式会社



印刷番号(6)81

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

富士山が噴火したら…

降灰に備える

最悪のケースの場合、
都内の広範囲に2～10cm程度の
火山灰が降り積もる可能性があります。

※噴火規模や風向きなどの条件により、
降灰の状況は変わります。

東京都

火山灰とは？

- 火山灰は、火山の噴火により放出される直径2mm未満の非常に小さな粒子で、風に乗る遠くまで届いて、広い地域に降り積もります。
- 湿ると導電性（電気を通す）を持ったり、固まる性質があるほか、ガラス片・鉱物結晶から成るため硬くとなっているなど、その特徴から様々な被害や影響を及ぼします。



火山灰の主な特徴

- ① 粒子が固くとなっている
- ② 湿ると電気を通す
- ③ 湿ると固まる



身体への影響と対策

目への影響

火山灰は細かくとなっているため、目に入るとごろごろしたり、こすると目の表面に傷ができることがあります。

【主な症状】

- 目の異物感
- 目の痛み、かゆみ、充血
- ねばねばした目やに・涙
- 角膜のひっかき傷
- 結膜炎、充血やひりひり感などの症状

主な対策

- 外出時はゴーグル又は眼鏡を着用し、火山灰が目に入らないようにしましょう。
- コンタクトレンズは角膜を傷つける恐れがあるため、外しましょう。



呼吸器系への影響

火山灰は細かい粒子のため、大量に吸い込んだ場合、鼻やのどなどに異常が出たり、呼吸器疾患などを悪化させる恐れがあります。

【主な症状】

- 鼻やのどの痛み
- 発作のようなせき
- 胸のしめつけ感
- ゼーゼーとした息苦しい呼吸

主な対策

- 外出時はマスクを着用するなど、火山灰を吸い込まないようにしましょう。



皮膚への影響

火山灰が肌につくとべたべたし、皮膚の炎症を起こすことがあります。

【主な症状】

- 付着による不快感
- ひっかき傷からの二次感染
- 皮膚の痛みや腫れ

主な対策

- 肌が露出しないように、長袖・長ズボンを着用したり、傘で防護しましょう。



降灰による影響

ライフライン



上水道

- 河川などに火山灰が降ると、水質が悪化し、降灰の影響が大きい浄水場では、水質基準超過のリスクがある。
- 停電エリアの浄水場及び給水所等で、自家用発電設備の燃料切れが生じると水道の供給に支障が生じる。

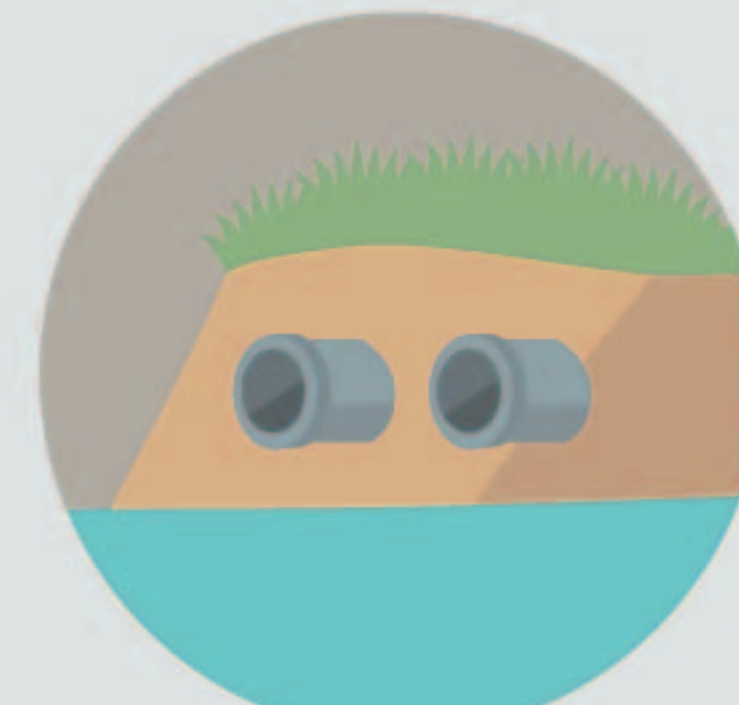


電力

- 降雨時3mm以上の降灰で、碍子（がいし：電線を支える器具）の絶縁低下による停電が発生。
- 数cm以上の降灰で火力発電所の吸気フィルタの交換頻度の増加等による発電量の低下が生じる。
- 電力供給量の低下が著しく、需要の抑制や電力融通等の対応でも必要な供給力が確保できない場合は停電に至る。

下水道

- 降雨時、下水管の閉塞により、閉塞上流から雨水があふれる。
- 停電エリアの処理施設・ポンプで非常用発電設備の燃料切れが生じると下水道の使用が制限される。



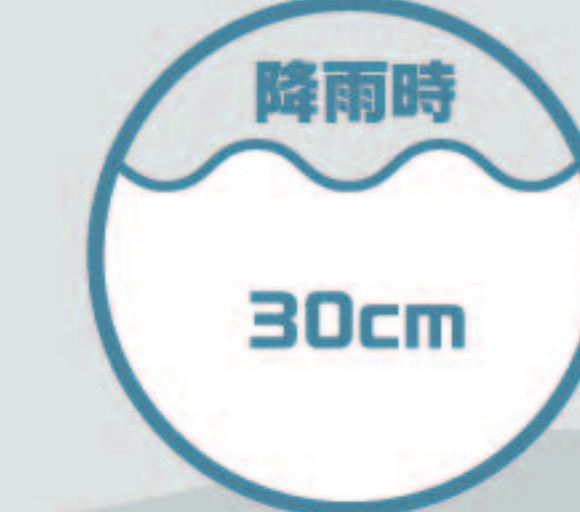
通信

- 噴火直後には利用者増による電話の輻輳が発生。
- 降雨時に、火山灰が基地局等の通信アンテナに付着すると、通信を阻害。
- 停電エリアの基地局等で非常用発電設備の燃料切れが生じると、通信障害が発生。



建物

- 降雨時30cm以上の堆積厚で木造家屋が火山灰の重みにより倒壊するものが発生。
- 体育館等の大スパン・緩勾配屋根の大型建物は、積雪荷重を超えると損壊するものが発生。
- 5cm以上の堆積厚で空調設備の室外機に不具合が生じる。



人の移動

- 鉄道の運行停止とそれに伴う道路の渋滞による一時滞留者の発生、帰宅や出勤等の移動困難が生じる。
- 道路交通支障により、移動手段が徒歩に制限される。



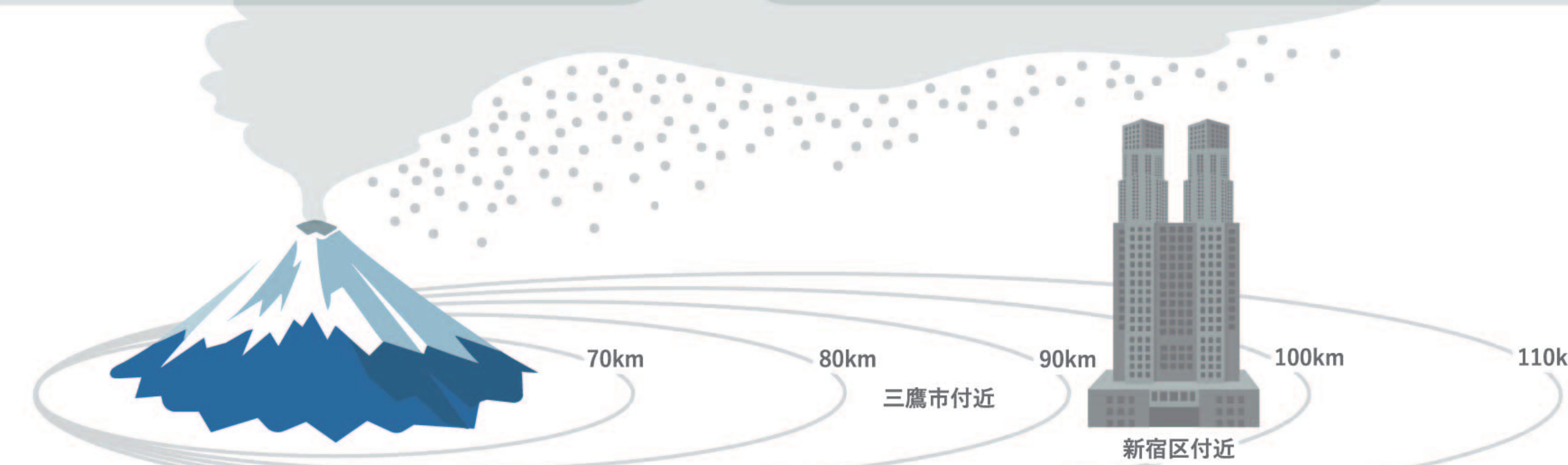
農作物・水産物

- 農作物に対する商品価値の低下や収穫不能が生じる。
- 降雨時10cm以上の降灰で森林の幹の折損、生育不良や枯死が発生。
- 水産物の漁獲量や養殖への影響が生じる可能性がある。



物資

- 一時滞留者や人口が多い地域では、少量の降灰でも、買い占め等による食料及び飲料水等の売り切れが生じる。
- 交通支障が生じると、物資の配送や店舗の営業困難等により生活物資が入手困難となる。



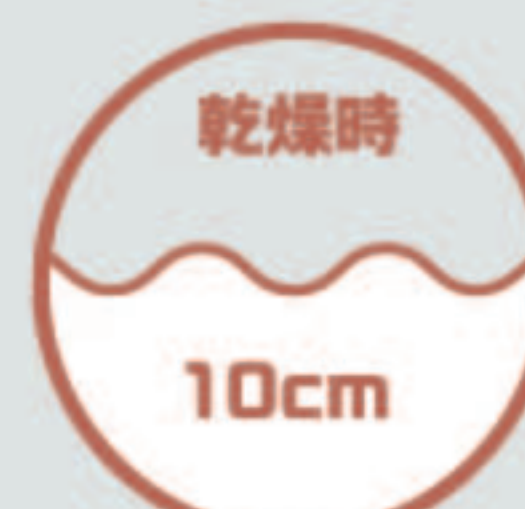
富士山が大規模に噴火した場合、降灰により様々な被害が想定されています。

交通インフラ



道路（二輪駆動車）

- 乾燥時10cm以上、降雨時3cm以上の降灰で二輪駆動車が通行不能。
- 当該値未満でも、視界不良による安全通行困難及び、道路上の火山灰や鉄道停止に伴う交通量増等による速度低下や渋滞が発生。



鉄道

- 微量の降灰で地上路線の運行が停止。
- 大部分が地下の路線でも、需要増加や車両・作業員の不足等により運行停止や輸送量の低下が発生。



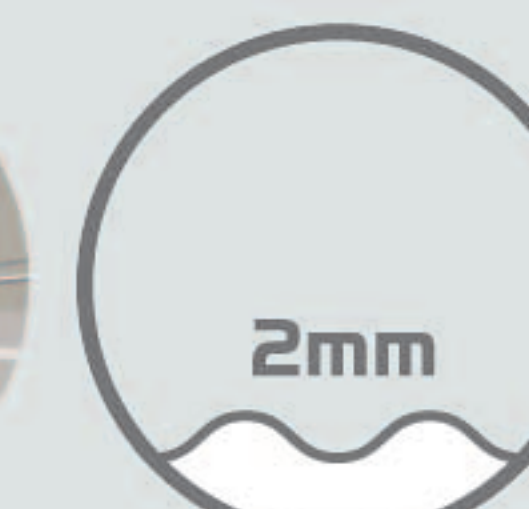
船舶

- 降灰中は視界不良により運行停止となる可能性がある。
- 多孔質の火山灰が海面に浮遊している場合は、冷却水管やエンジンフィルタの目詰まりの可能性がある。



航空機

- 降灰が0.4mm以上になると滑走路等の除灰が検討され、2mm以上になると除灰が必要とされ、除灰作業が行われるまでの間、滑走路が利用不可。
- 大気中に火山灰が存在する空域では、航空機は迂回等の措置が必要。



中央防災会議「大規模噴火時の広域降灰対策検討WG報告（令和2年4月）」を参考

そのほか

東京都では、富士山噴火に伴う降灰が起きても、交通やライフラインが長期間ストップすることがなく、都市活動を維持するため、様々な対策を行っています。

